

休校期間（R2年 4/11～4/26）における家庭学習課題

特進コース1年 数学Ⅰ（1，2，3組共通）

教科書：p.6～p.31

- (1) 本文をよく読み、例、例題を参考にしてその下の問いを授業用ノートに解答する。
- (2) p.19, p.30 の問題も解答する。
- (3) p.20, p.21, p.31 の参考、発展についても(1)と同様に解答する。

問題集（4プロセス）：p.6～p.21

- (1) 問題集（4プロセス）用のノートを授業用ノートとは別に用意する。
- (2) A 問題，B 問題とも、“*”のついている問題を(1)のノートに解答する。応用問題は余裕があれば解答する。（教科書の内容、各項目の初めに書いてある事項、例題を参考にする。）たとえば、2(2)(4)(5)，9 全部等。
- (3) 教科書の項目ごとに問題集を解答するとよい。

特進コース1年 数学Ⅰ（4組のみ）

教科書：p.60～p.80（ただし、p.62, p.63 を除く。）

- (1) 本文をよく読み、例、例題を参考にしてその下の問いを授業用ノートに解答する。
- (2) p.66 の問題（6，7以外），p.67 の問題（5以外）も解答する。

問題集（4プロセス）：p.33～p.44（ただし、p.38, p.39 を除く。）

- (1) 問題集（4プロセス）用のノートを授業用ノートとは別に用意する。
- (2) A 問題，B 問題とも、“*”のついている問題を(1)のノートに解答する。応用問題は余裕があれば解答する。（教科書の内容、各項目の初めに書いてある事項、例題を参考にする。）たとえば、105 全部、126(1)(4)等。
- (3) 教科書の項目ごとに問題集を解答するとよい。
- (4) 問題番号 115～120 は除く。

特進コース1年	家庭基礎	担当 : 植松明美
<ul style="list-style-type: none">◇ あなたの夢や将来の希望を盛り込んだ生活設計をプリントに描いてみましょう。◇ どのような職業に就きたいのか、「職業」や「働くこと」について、資料集『生活ハンドブック』P8を参考にして、プリントを埋めましょう。◇ 家事労働は、誰がやっていますか。表に記入しましょう。そして、改善点や家族全員の「仕事」と「生活」の調和をとるためには、どうしたらよいか考えてみましょう。 ◇ プリント1枚を、27日(月)に提出してください。		

特進コース1年3組	生物基礎	担当 奥村豊
<p>次の課題をやり4月27日(月)提出ください。</p> <ol style="list-style-type: none">1 教科書p2～p19を読み、教科書プリントNo1～No6を完成する。2 問題集「Let's Try Note 生物基礎」p10～p18の問題を解く。3 別紙序章「探究活動の仕方」を読み、印象に残ったところや興味・関心を持ったところを3つ所定の用紙に書く。また、教科書p190・191の探究6「外来生物が生態系に与える影響」をやり、結果を所定の用紙を使ってまとめる。		

◇教科書p6～p28（第1章運動の表し方 1. 速度 2. 加速度）を計画的に学習して下さい。

◇インターネット環境が利用可能な生徒は

映像授業 <https://www.try-it.jp/> 【高校物理基礎】→【運動と力】
の映像授業（無料ページのみ）を見て下さい。

1 速度と加速度

映像授業1 「速さと速度」

映像授業2 「等速直線運動」

映像授業3 「 v - t グラフ」

映像授業4 「 x - t グラフ（等速直線運動）」

映像授業5 「加速度 a 」

2 等加速度直線運動

映像授業6 「等加速度直線運動の速度 v 」

映像授業7 「等加速度直線運動の位置 x 」

映像授業8 「等加速度直線運動、時間含まずの式」

映像授業9 「 v - t グラフ（等加速度直線運動）」

◇問題集リードα物理基礎の以下の問題をノートに解き27日(月)に提出して下さい。

解答を見ながらでも構いません。解答を読みこなして、考え方や解き方を学んで下さい。

p 6 基礎check1,2,3,4,5,7,8

p 7 基本例題1 基本例題2(1)のみ

p 8 基本例題3(1)のみ 基本例題4

p 9 基本例題5 基本問題1,2,3

p10 基本問題4,5(1)のみ,8

p11 基本問題11,12,13,14,15

p12 基本問題16,17,18

特進コース1年	数学A	担当 小林義季 加藤邦博 山田隆一 竹内文雄
<p>◇教科書 p.6～13 本文をよく読み、例、例題を参考にしてその下の問いを授業用ノートに解答する。</p> <p>◇問題集(4プロセス数学I+A)の p.100～110 問題集(4プロセス)用のノートを授業用ノートとは別に用意する。 A問題(1～7,13～16,25～29) をノートに解き4月27日(月)に担当の先生に提出する。 B問題は余裕があれば解答する。</p>		

◇大学入試漢字TOP2000（いいずな書店）P20～P38・P204～P219

※休校明けにテストを行うので、上記の範囲を各自で勉強して下さい。

◇高校生の古典文法（京都書房） P5～P11「文語文の単位」まで 各自で読む

※この部分を理解している前提で授業を再開します。できる限り読み込んでおくようにして下さい。

◇【国語総合】学習課題ノート（教育出版）P2～P9 <配布プリント>

教材「ダイヤモンドと希望」「自由な主体になるために」

※教科書を読み、課題プリント4枚の問題を解いてください。解説は授業で行います。

コロナ問題による臨時休校期間中の学習指示

使用教材、

- ① PROMINENCE English Communication I (教科書)
- ② PROMINENCE English Communication I (予習ノート)
- ③ 各自が用意する学習用(授業用)ノート
- ④ オーレックス英和辞典

学習内容について

1. ③各自のノートに①教科書の本文の英文を書き写す。
(例)・PP.6-7 の本文を書く。ノートは1行おきを書く。ノートにたくさん書き込みをしたい人は、余裕をとって2行おき、3行おきでも構わない。
 2. ②予習ノートの左ページには①教科書の英文が書いてあり、各文の中で区切りの赤い斜線(slash/スラッシュ)がつけられている。その区切りごとの固まりで意味を考えて書き入れる。
(例) ⑧の英文の場合 : It has the right temperature / to have water.
それは適切な温度を持つ / 水を持つために
 3. ② A Words & Phrases ④辞書で意味を調べて、記入する。
 4. ② B Definitions および C Let's Scan に記入する。
 5. ② D Let's Check ④辞書も使いながら、訳を書き入れる。
整った日本語で訳してみよう。ただし、ここに出ている英文は、上記の2にある、左ページでのスラッシュごとの訳は書かなくてよい。
 6. ①教科書 P6 の下にある、重要語句を使った追加例文の意味を書く。教科書に直接書き込んでよい。
 7. ①教科書 P7 の下にある、紺色に白ぬきの Q1, Q2...への答えの英文を、③各自のノートに書く。※ 緑の G-1①...と赤の FQ は、やらなくてよい。
- ★ 以上の学習過程を教科書の Lesson 1 Part 1~Part 4 および Lesson 2 Part 1 ~Part 4 までやる。
※ ①教科書の PP.14~18、PP.28~32 は、やらなくてよい。
- ★ 以上の作業を、ただノート上でこなすだけでなく、単語は発音して覚えるように努める。また、英文本文もできるだけ音読をしてみるよう努力する。

コロナ問題による臨時休校期間中の学習指示

使用教材、

- ① 総合英語 FACTBOOK これからの英文法（白と水色のジャケット、530 ページの厚い参考書）
- ② 総合英語 FACTBOOK English Grammar Advanced（白と紫色のカバー、120 ページの授業用テキスト）
- ③ 各自が用意する学習用(授業用)ノート
- ④ オーレックス英和辞典

学習内容について

③のノートに②の英文を書く。

②の左ページの英文を書く。

- ・授業での説明を書き加えるためにスペースに余裕をとる。
- ・左ページに書かれている説明を読む。ただし、この説明全部をノートに書き写すのでは大変な作業になるので、どれだけ書くかは各自で判断する。
- ・②の、このページ（例えば第1章）に関する詳しい説明が①の参考書に書かれている。その該当ページは①の PP.16-23 です。②の左ページの右上に「FACTBOOK pp.16-23」と書かれています。

②の右ページの問題（Exercise）の英文を書く。

- ・答えを、英文全体として書いてくる。

※()に入る語だけを書くのではなく、1文全体を書き、その英文の意味をしっかりと考える。そこには、まだ知らない語も含まれていることがある。その場合は辞書で意味調べをして、書き加える。

以上のことを、②の P15 および①の P50 までやる。

①は、表紙のすぐウラから、pp.x～pp.xxvi、さらに pp.2～pp.15 も読む。